

# きものde銀座・10年目を迎えて

2000年にスタートした「きものde銀座」も、いよいよ10年目に突入。  
20人弱で始まった「de銀座」ですが、翌年の正月には40名を超えていました。次々に新聞や雑誌、テレビに取り上げられて知名度が上がり、人数も増えました。この仲間の中から、大きく羽ばたいて行った仲間もいます。楽しいイベントもありました。

そんな一方で、ネット上には「コスプレ集団」「汚着物集団」というような誹謗中傷の書き込みも激しくなりました。でも「事務局・だんな」を中心にそれを乗り越えて頑張りました。「きものが好きだから・・・」「みんなと居ると楽しいから・・・」そんな連帯感がありました。

## 2006年からの当番制。

次々に当番の立候補が現れてすっかり定着し、順調に進んでいるように見える「de銀座」。でも、ちょっと今不安な気持ちになっています。みんなが温かい気持ちで触れ合える、キモノの輪(和)が広がる「きものde銀座」だったのですが…。

昔懐かしい写真を「悟雀の部屋」で見直しています。

○コリドー街の『土風炉』の狭い部屋で膝をくっつけて写っている写真があります。

○「だんな」の乾杯に、楽しそうにグラスを上げる皆さんが居ます。

○立ってお話している参加者の言葉に聞き入っている皆さんがいます。

## 今はどうでしょう……。

「始まる時間に間に合うように来たのに、乾杯前からもう飲んでるの…?」

「詰めてください…って言ったら、これ以上無理って怒られちゃった」

「初参加の人が挨拶してるのに、うるさくて聞こえないです…!」

これでいいのかなぁ……?

## お当番は大変です。

「受付で集金をして、人数にあわせて注文をして…皆さん座れるように気配りして。」

頑張ってくれるのに…自分たちは乾杯もしないうちに勝手に飲んでていいんでしょうか?

初めて参加した人は緊張してお話してくれます。

それを聞かずに、自分たちの仲間で盛り上がっていいんでしょうか?

## ある参加者の声です。

きものの輪を広げるためにやっているのに、かえってバラバラになるみたい……。

## 10年目の「de銀座」。

あなたがちょっと気配りしてくれればいいのです。

=いつも温かい、心の通った「きものde銀座」でありたいなぁ=

2000年6月 初めてティファニー前で記念写真 (悟雀撮影)



重松・だんな・  
悟雀ハニー  
ご隠居・にしゃん  
スージー(顔隠れてる)  
すずまつ・如月・仁美  
京都のお坊様  
九州の旅館の旦那  
日野君・だんな奥様

等々

懐かしい顔です。